

2025 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 ア ス ク ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 吉 岡 晃
 (コード番号:2678 東証プライム)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 C F O 玉 井 継 尋
 TEL 03-4330-5130

その他の関係会社の決算に関するお知らせ

本日、当社のその他の関係会社である LINE ヤフー株式会社（本店所在地：東京都千代田区紀尾井町 1-3、代表者：代表取締役社長 CEO 出澤 剛）より、2025 年度第 2 四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料が発表されましたが、その資料に当社に関する記載がありましたので、該当ページに関し別添のとおりお知らせいたします。

添付資料中、当社の業績に関する記載がございますが、以下のとおり LINE ヤフー株式会社と当社の各連結会計期間は異なり、また、両社の会計基準等の違い※により当社が公表する決算数値とは合致いたしません。

※当社は日本基準、LINE ヤフー株式会社は IFRS を会計基準に適用

連結会計期間	LINE ヤフー株式会社	当社
第 2 四半期	2025 年 7 月 1 日～2025 年 9 月 30 日	2025 年 8 月 21 日 ～2025 年 11 月 20 日
	・ 添付資料中 1 ページ目および 3 ページ目に記載の調整後 EBITDA 増減額 ・ 添付資料中 2 ページ目に記載のアスクル BtoB 事業（インターネット経由）の四半期売上高 ・ 添付資料中 3 ページ目および 4 ページ目に記載のアスクル連結四半期売上高	

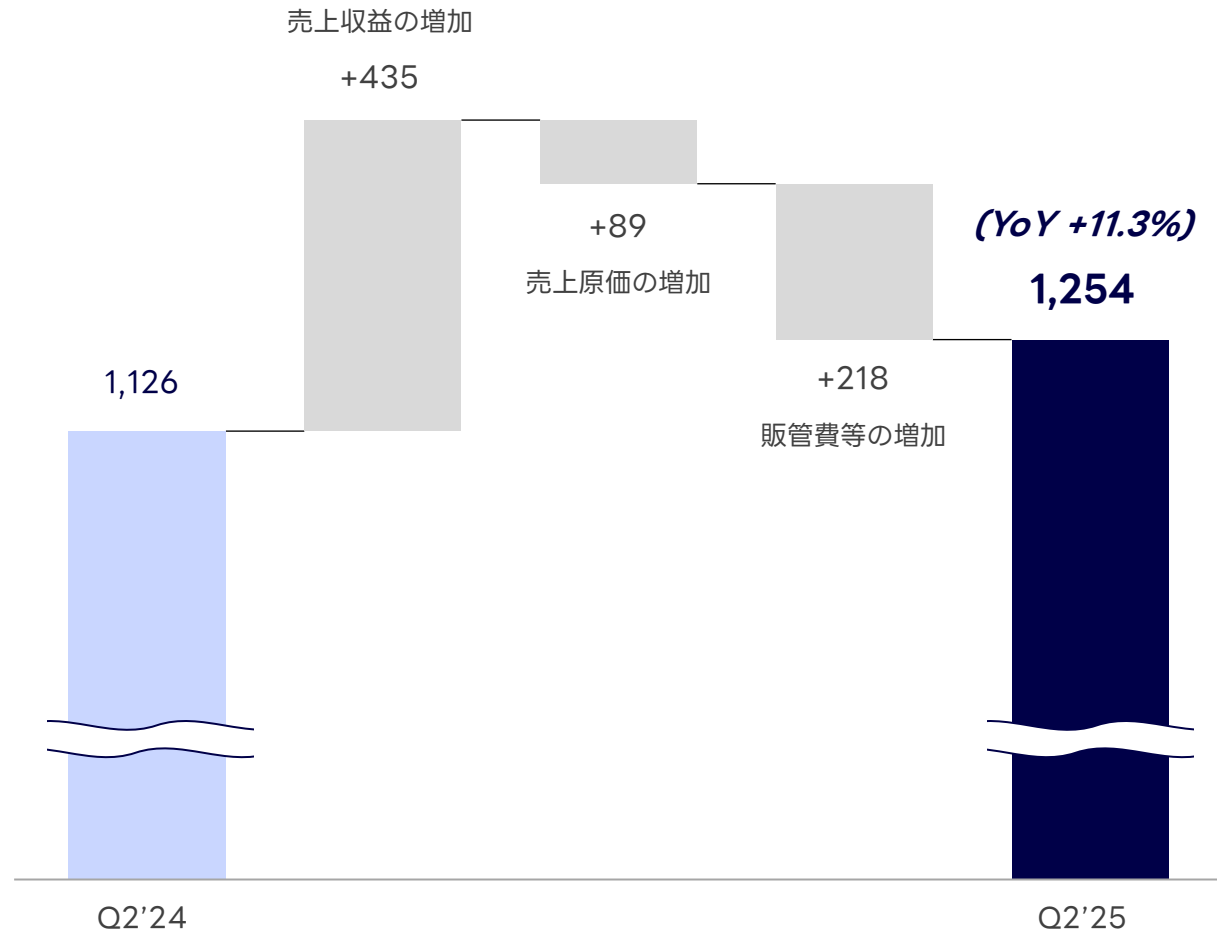
別添 LINE ヤフー株式会社 2025 年第 2 四半期 決算説明会プレゼンテーション資料（抜粋）

（注）2025 年 5 月 20 日時点で LINE ヤフー株式会社は当社発行済株式総数の 46.22%を所有しております。

以 上

調整後EBITDA¹増減分析

(億円)



売上収益: +435億円

- メディア: -4億円
 - 検索広告: -65億円
 - アカウント広告: +48億円
 - ディスプレイ広告: +23億円
- コマース: +146億円
 - ZOZO、アスクル: +77億円
 - LINEヤフー: +68億円
- 戦略: +284億円
 - PayPay連結: +202億円
 - LINE Bank台湾: +47億円

売上原価: +89億円

- メディア: -0億円
- コマース: +52億円
 - ZOZO、アスクル: +31億円
 - BEENOS: +19億円
- 戦略: +40億円
 - LINE Bank台湾: +25億円
 - PayPay連結: +10億円

販管費等: +218億円

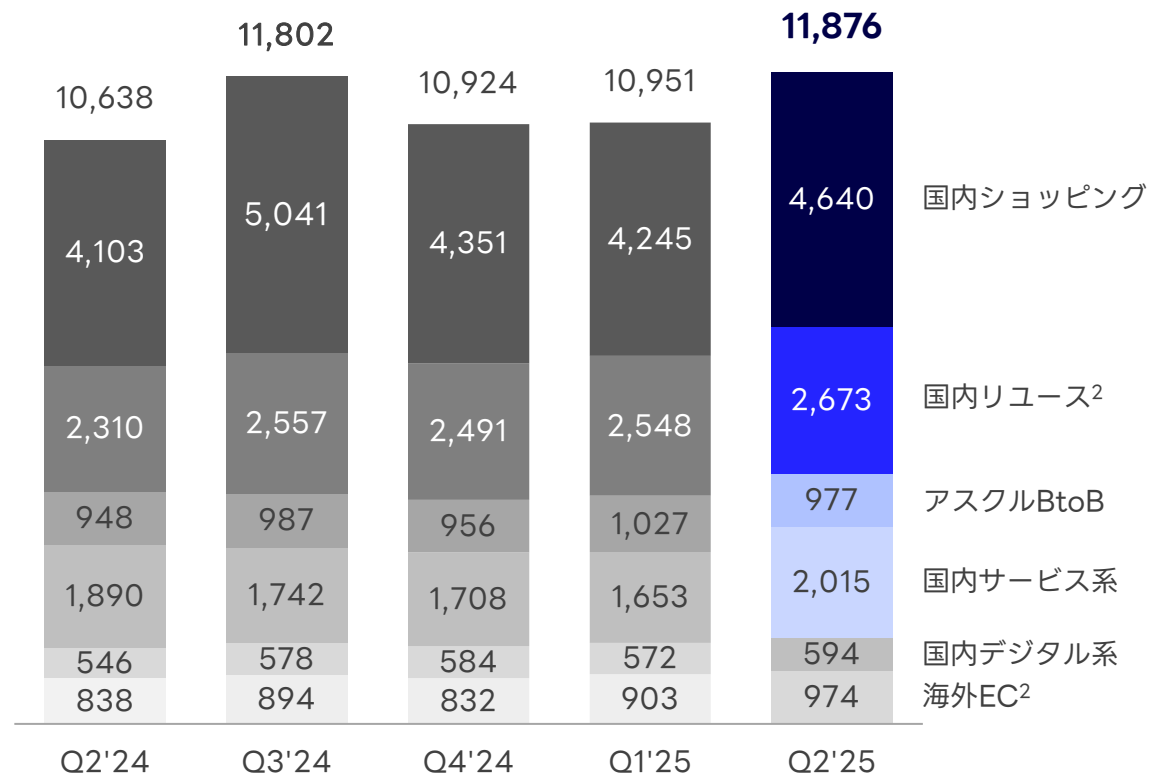
- PayPay連結: +98億円
- LINEヤフー コマース事業: +55億円
- ZOZO、アスクル: +48億円

1. 調整後EBITDA:営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費等。EBITDA調整項目:営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加

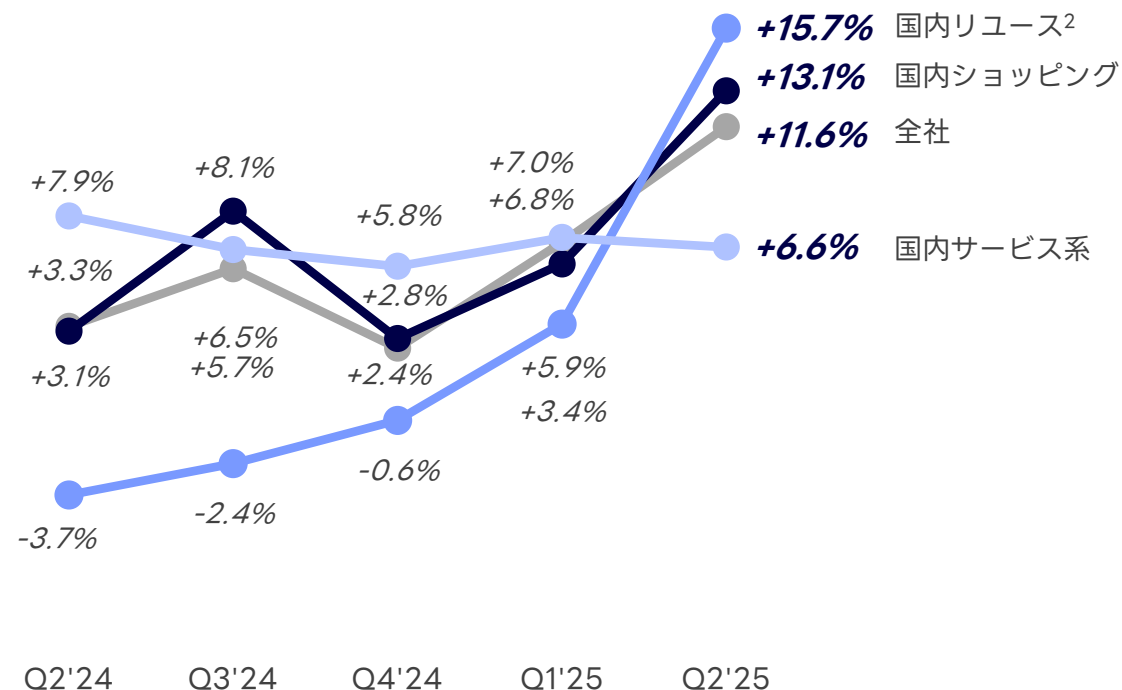
Yahoo!ショッピングが成長をけん引、BEENOSのフル連結化も貢献

全社 eコマース取扱高¹

(億円)



全社 eコマース取扱高 成長率 (YoY)¹

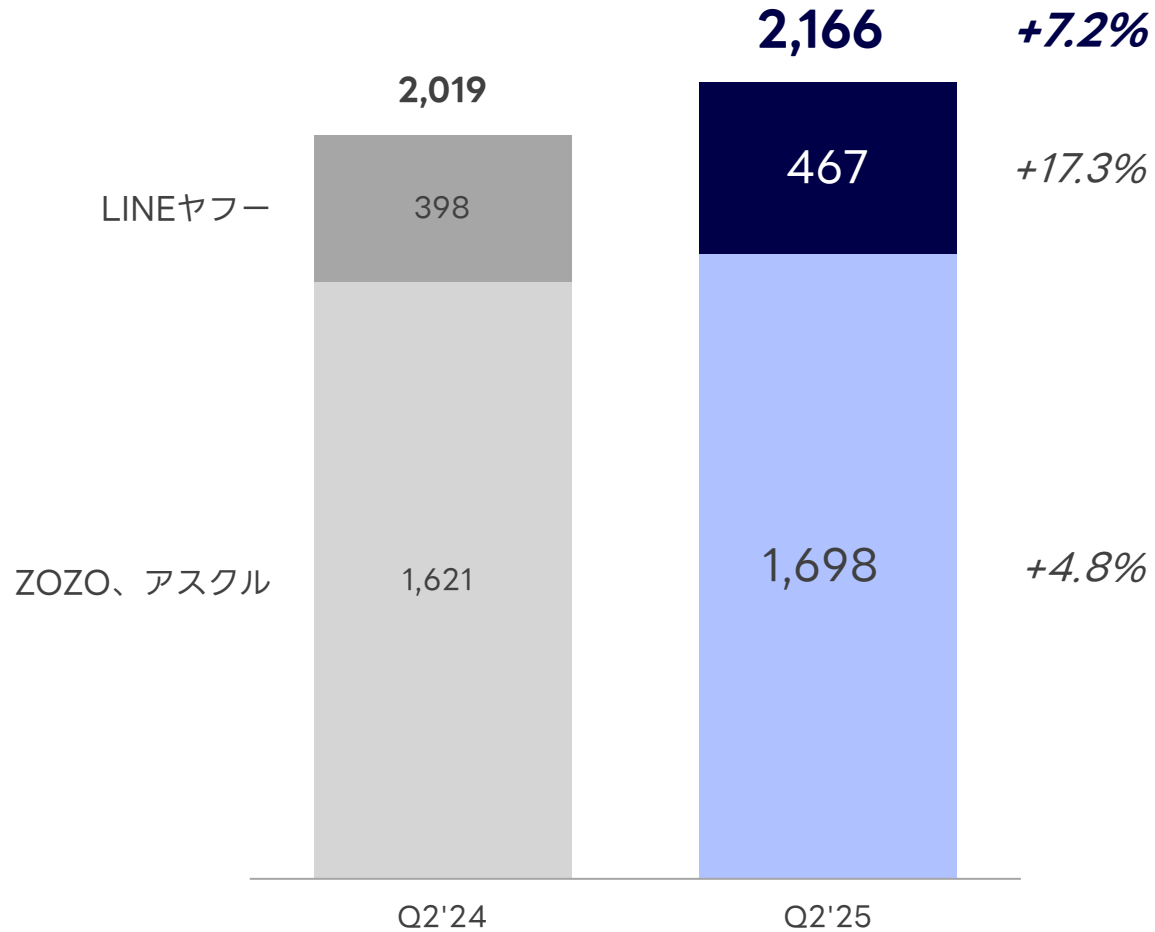


1. 取扱高の定義は補足資料P28参照

2. FY25Q1より、国内リユースに「BEENOS」、海外ECに「Lyst」を含む

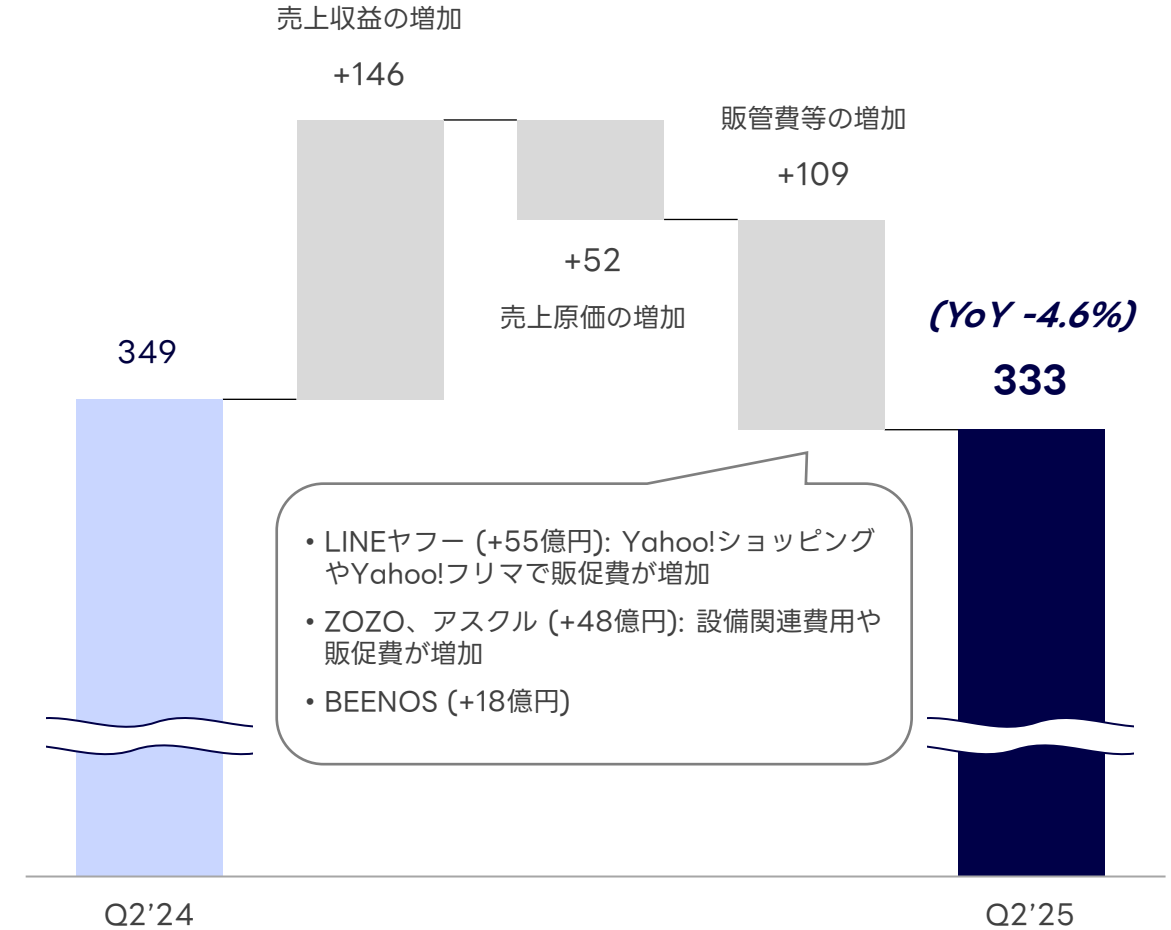
売上収益

(億円)



調整後EBITDA¹増減分析

(億円)



1. 調整後EBITDA: 営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費等。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加

業績概況 (P/L)

(百万円)

	FY2024 Q2 ^{1,2}	FY2025 Q2 ^{1,2}	YoY
売上収益	201,993	216,625	+7.2%
LINEヤフー	39,869	46,763	+17.3%
ショッピング事業	18,377	20,203	+9.9%
リユース事業	10,200	14,395	+41.1%
サービスEC事業	10,624	11,736	+10.5%
その他	666	428	-35.7%
ZOZO、アスクル	162,123	169,861	+4.8%
売上原価	91,527	96,794	+5.8%
売上総利益	110,465	119,830	+8.5%
販管費	93,109	105,273	+13.1%
販売促進費・広告宣伝費	17,897	25,244	+41.0%
その他販管費	75,211	80,029	+6.4%
その他収益及び費用	-	44,377	N/A
調整後EBITDA/マージン	34,960 (17.3%)	33,340 (15.4%)	-4.6%

1. FY24Q3に、メディア事業に区分されていた一休.comレストラン、およびPayPayグルメのサービスをコマース事業に移管。これに伴いFY23、FY24Q1、Q2の業績を遡及修正

2. FY25Q1に、テクノロジー部門の人件費、データセンターおよび社内インフラに関わる費用の配賦基準を変更。これに伴い、FY24業績を遡及修正

項目	内訳
LINEヤフー	—
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「LINEブランドカタログ」、「LINE FRIENDS」、「LINEギフト」、「LINEショッピング」、「Yahoo!クイックマート ¹ 」、海外EC（「LINE SHOPPING（台湾・タイ）」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、その他）
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、BEENOS ²
サービスEC事業	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「LINEトラベル（台湾）」、「LINE MAN ³ 」、その他
その他	その他
ZOZO、アスクル	—
ZOZO	「ZOZOTOWN」、「ZOZOUSUED」、「Lyst ² 」、その他
アスクル	アスクルBtoB事業（「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」、その他）、「LOHACO」、「チャーム」、その他

1. 2025年8月31日にサービス終了

2. FY25Q1より「BEENOS」「Lyst」を含む

3. FY25Q2より、LINE MAN CORPORATION PTE. LTD.を連結

項目		主なサービス・商品
eコマース取扱高	—	
国内物販系取扱高	—	
ショッピング事業		「Yahoo!ショッピング」、「ZOZOTOWN」、「LOHACO」、「チャーム」、「LINEブランドカタログ」、「LINEギフト」、「LINEショッピング」、「LINE FRIENDS」、「Yahoo!クイックマート ¹⁾ 」
リユース事業		「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、「ZOZOUSUED」、BEENOS ²⁾
アスクルBtoB事業 (インターネット経由)		「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」等
国内サービス系取扱高		「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「出前館」
国内デジタル系取扱高 ³⁾		「ebookjapan」、「LINEマンガ」、「LINE MUSIC」、「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、その他有料デジタルコンテンツ
海外EC取扱高		「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、「ZOZOFIT」、「Lyst ²⁾ 」、「LINE FRIENDS」、「LINEトラベル」、「LINE MAN」、「LINEスタンプ ³⁾ 」、「LINE GAME ³⁾ 」、「DOSI ⁴⁾ 」

1. 2025年8月31日にサービス終了

2. FY25Q1より「BEENOS」「Lyst」を含む

3. 当該サービスの収益は、メディア事業セグメントに計上

4. グローバルNFTプラットフォーム。当該サービスの収益は、戦略事業セグメントに計上。2025年12月30日にサービス終了予定